



月例山行

経ヶ峰 (819m) 1月26日

中村、伴野、柴橋、市橋、水谷
▲1月下旬としては暖か。晴天に恵まれる。9:00に平尾林道終点駐車場から、登山開始。沢沿いの道を15分程歩き、登山口に到着。沢から離れ、山出分岐を目指す。9:45山出分岐に到着。稜線に出たせいか、北風をダイレクトに受



け、上りでかいた汗で一気に冷えた。10:00平尾分岐に到着。稜線沿いで、比較的なだらかなため、距離の割に時間がかからなかった。10:15休憩小屋に到着。小屋は立派な造りで、板張りの床と囲炉裏があった。15分程休憩し、山頂に向かう。10:40山頂に到着。なだらかな芝生広場になっており、山座盤と木製の展望台が設置されている。360度見通しがきき、近くの錫杖が岳、青山高原、北は鈴鹿連峰、東には伊勢平野を見渡すことができた。北風を避けて30分程の昼食休憩をとったのち、下山を開始。平尾分岐まで戻り高座原・平尾コースを下ることにした。平尾コースの中ほどで、伴野さんお手製のコーヒーとチョコレートで、ホッと一息。ほぼ予定通り12:30に駐車場に戻った。山頂での一句。『頂で パノラマ冬景 分かち合い』
---記録：中村

春の親睦山行は 大日ヶ岳・五郎平

▲3月2・3日(日・月) 雪山登山、民宿の夜、今年もお馴染みの宿「五郎平」に予約しました。



山岳遭難あれこれ



救助訓練

▲2024年夏山シーズン(7~8月)の全国の山岳遭難発生件数は**660件**。736人もの方が遭難しました。過去最多となった2023年からは若干減少したものの、依然として多くの遭難事故が発生しています。2024/12/18

▲遭難者は**単独登山が多い**。1人では何かあったときにどうしようもない。最近は登山する高齢者も多く、「時間があるから山に行ってみよう」というのが多い。——Netから

◆山はそれ自身が非日常である。アクシデントは、想定に織り込み済みくらいの心構えと準備が欲しい。山とルートグレード、季節、天候、自身とパーティの技量、

◆単独登山は面白い。ただし、保険無しで車を運転するようなもの。楽しい仲間と共に登ろう。

ヘリでの救助活動について

Q 春山や冬山などで危険を承知の上で登山するのに、遭難時になぜ無料で救助するのか? 一律100万とか200万円とかを頂くべきではないか。

A 山岳救助活動は、無償で行っている市町村消防の救急・救助活動の延長であることから、無償としている。長野県危機管理監兼危機管理部長回答 (2024年5月7日: Eメールでの質問に対する長野県への回答) —— Netから



1人ずつ救助するので立ってもらっていいですか。